

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【公開番号】特開2016-40423(P2016-40423A)

【公開日】平成28年3月24日(2016.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2016-018

【出願番号】特願2014-164446(P2014-164446)

【国際特許分類】

D 0 6 P 7/00 (2006.01)

D 0 6 P 5/20 (2006.01)

D 0 6 P 5/00 (2006.01)

G 0 2 C 7/00 (2006.01)

【F I】

D 0 6 P 7/00

D 0 6 P 5/20 D

D 0 6 P 5/00 D

G 0 2 C 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月7日(2017.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

染色面に染料が付着した樹脂体を加熱することで、前記樹脂体に前記染料を定着させて前記樹脂体を染色する染色装置であって、

電磁波を発生させる電磁波発生手段と、
前記染色装置の動作を制御する制御部と、
を備え、
前記制御部は、

染色する前記樹脂体の形状に関する情報、および、染色する前記樹脂体の材質の少なくともいずれかの入力を受け付けると共に、

受け付けた前記形状に関する情報および前記材質の少なくともいずれかに応じて前記染色装置を制御し、前記染料を定着させる定着工程を実行させることを特徴とする染色装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の染色装置であって、

染色する前記樹脂体が複数設置される設置部をさらに備え、

前記電磁波発生手段は、前記設置部に設置される複数の前記樹脂体の各々に対応して複数設けられており、

前記制御部は、

前記形状に関する情報および前記材質の少なくともいずれかの入力を、前記設置部に設置される複数の前記樹脂体の各々に対して受け付けると共に、

各々の前記樹脂体に対して入力された前記形状に関する情報および前記材質の少なくともいずれかに応じて、各々の前記樹脂体に対応する前記電磁波発生手段を個別に制御することを特徴とする染色装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の染色装置であって、
染色する前記樹脂体は、光を屈折させるプラスチックレンズであり、
前記形状に関する情報は、前記樹脂体の度数、前記樹脂体の厚み、および前記樹脂体の径の少なくともいずれかを含むことを特徴とする染色装置。

【請求項 4】

染色面に染料が付着した樹脂体を加熱することで、前記樹脂体に前記染料を定着させて前記樹脂体を染色する染色装置であって、
電磁波を発生させる電磁波発生手段と、
前記染色装置の動作を制御する制御部と、
を備え、
前記制御部は、
形状および材質の少なくともいずれかが異なる複数種類の前記樹脂体の各々に対応する複数の定着工程を前記染色装置に実行させることが可能であり、
前記定着工程を選択する指示を受け付けると共に、受け付けた指示に応じて前記複数の定着工程のいずれかを前記染色装置に実行させることを特徴とする染色装置。

【請求項 5】

染色面に染料が付着した樹脂体を加熱することで、前記樹脂体に前記染料を定着させる染色樹脂体の製造方法であって、
染色する前記樹脂体の形状に関する情報、および、染色する前記樹脂体の材質の少なくともいずれかに応じて、前記樹脂体に電磁波を照射することで、前記樹脂体に前記染料を定着させる定着ステップを含むことを特徴とする染色樹脂体の製造方法。